

# 三豊市型ライフスタイルを実践

自分の人生に夢を描き、目標をもって生きていく、それを実践するステージが三豊市です。今月号は、すでにそんな人生ストーリーを歩み始め、三豊市型ライフスタイルのさきがけとして、活躍されている夫婦を紹介します。



## 三豊市に住んでみて 三豊市に来て何年ですか。 今年で4年目です。

## 三豊に来られたきっかけ は。

牧場で働きたいという希望を持っていて、山梨県の前職場で種豚をつくっていたことから、種豚の配達でした。社長と知り合って、話すにつれ、「ここ」で働きたくなりました。

## 三豊市に住まいですか。 高瀬町二ノ宮地区です。

この牧場から少し下った集落で、一軒家を借りて住んでいます。社長と知り合って、話すにつれ、「ここ」で働きたくなりました。

## 現在のお仕事の内容は。 簡単に言うと、豚肉をつ

**高瀬町上麻の増田畜産(有)**  
緑ヶ丘牧場で働く、木村弥幸さん(29)と麻美さん(28)ご夫婦。家族構成は、ご夫妻と3歳と1歳のお子さんの4人家族です。牧場では豚の管理を任されており、充実した毎日を過ごされています。

(赤字は麻美さんのお話です)

くるということです。この牧場のすべてを任せられ、2,200頭の豚の飼育をしています。急に曲がったりして。車社会の県なので、子どもが学校に通い始めた不安ですね。

県下でも4番目から番目に大きい規模だと思います。

## 三豊市での生活はどうですか。

大型スーパーが出来てから、随分暮らしの便が良くなりました。衣料品や子どものおもちゃなど、買い物は高松とかに行っていたのが、地元で済むようになりました。

## 子育て支援の充実を

今は、お子さんの保育をどのようにされていますか。  
両親が近くにいないので、土曜・日曜日も保育をしてもらいたいと思います。

## 三豊市に期待することは。 高瀬南部保育所

に預けています。仕事は、6時から7時くらいまでかかりますので、5時半から6時頃に妻が迎えに行っています。

子育てのことで、他に何かありますか。



私たちのよう、夫婦ともだけという家庭もあるのではないかと思います。ですから、子どもたちのための施設とか、対応が優遇されていれば来やすいのではないかでしょうか。乳幼児の時から安心して預けられるところがあれば、助かります。

## 働きながら子育てできる環境が大事ということですね。

子育て支援として、ファミリーサポートセンターなどもありますが、利用料金を安くするなど、利用しゃります。

## 働きながら子育てできる環境が大事ということですね。

自分も食べ物を作っています。春にはジャガイモを植えました。土仕事をして苦労して食べる、それを一緒にすることと、子どもたちもまた「いただきます」の意味、またその大きさを感じてくれると思っています。

## 農業もやりたいということがありますが。

両親が真剣に働いている姿や汗をかいて働くことを子どもに見せる大事ですね。

## 自分も食べ物を作っています。

自分で収入が無くなってしまう、自分が作ったものを食べれば生きていけるし。そういう面で、空いている農地を市が借り上げて、市からその農地を借りられれば、安心して使えるのにもつたないと思います。

## 農業もやりたいといふことがあります。

心。たとえ収入が無くなつても、自分が作ったものを食べれば生きていけるし。そういう面で、空いている農地を市が借り上げて、市からその農地を借りられれば、安心して使えるのにもつたないと思います。

## ほかに何か感じることはありますか。

皆さんの車の運転が怖いですね。急に曲がったりして。車社会の県なので、子どもが学校に通い始めた不安ですね。

## ほかに何か感じることはありますか。

私たちのよう、夫婦ともだけという家庭もあるのではないかと思います。ですから、子どもたちのための施設とか、対応が優遇されていれば来やすいのではないかでしょうか。乳幼児の時から安心して預けられるところがあれば、助かります。

## 将来への夢

自分の牧場を持ちたいと



## 女性の立場から 三豊に住んでみてどうですか。

正直引っ越してきました。不安だら

方言も分からず、本当に困りました。方言も分からず、本当に困りました。本当に買ひ物に行けませんでした。

ですが、本当にうれしかったです。

地元の小学校は生徒数が少なそうで、ちょっとと心配しています。今、学校の統廃合が検討されているようですが、もし家から離れた学校に通うようになれば、スクールバスでの送迎はしてほしい。仕事もあるし、ふたりしかないので。

三豊に住んでみてどうですか。

本当にうれしかったです。

地元の小学校は生徒数が少なそうで、ちょっとと心配しています。今、学校の統廃合が検討されているようですが、もし家から離れた学校に通うようになれば、スクールバスでの送迎はしてほしい。仕事もあるし、ふたりしかないので。